

Eine Bibliographie Germania Judaica III

(Okt. 1990)

山下 肇

Inhaltsverzeichnis

Vorwort

- I Juden und Judentum überhaupt 1-28
- II Alt-Glauben und Lehre 1-7
- III Geschichtliche Zeit und Raum 1-51
- IV Judenfrage (Antisemitismus) 1-15
- V Nazizeit 1-31
- VI Jiddisch 1-4
- VII Anthologien 1-16
- VIII Persönlichkeiten 1-56
- IX Einzelne Werke 1-36
- X Dokumente 1-9
- XI Heutige Welt 1-12
- XII Bücherei, Bulletin, Jahrbuch, Zeitschrift, Lexikon u. a. 1-22

Vorwort

最近ほぼ10年来、きわめて恣意的ではあるが、私の関西大学在職中に、その個研費に支えられながら蒐集してきた、ドイツを基軸とするユダヤ問題の関係文献資料類を、ここにひとまず整理してみた。

この Bibliographie は、東大在職中2回にわたって紀要に発表した „Germania Judaica I (1978), II (1981)“ に続く第3回目に当り、本来なら既発表分も含めて全体を総合的に整理分類してまとめるべきかもしれないが、今回はII同様、Iの補遺 Nachtrag 的性格をもっている。しかし、この10年の関大生活をかえりみ、敢えて独立した書誌として扱いたい

思いもこめられていることをご諒察ねがいたい。

I, IIを併せて約600点、今回のIIIがおよそ290点、この場合1点が何冊にも連続している例も少なくないから、冊数でいえばほぼ1,000冊をこえる総数に達したといつてよいだろう。もうこの辺で、基本資料としては、区切りをつけた方がよいと思う。

私のめざす研究領域内では、これでようやく大体の基礎文献が揃ってきているし、ユダヤ人史全体を見わたす手がかりとなる図書類をおさえることもできた。元来私はモノマニアックなたちでは全くなく、懐ろ具合にはとうから限界を感じ続けてきているし、そろそろもう打ち止めにした感の強まった機会に、この際とつて Bibliographie として決算しているのである。

にもかかわらず、引続いて私の関心上不可欠な文献と思われる出版物が跡を絶たず現われるので、なかなか打ち止めというわけにいかない。近年でいえば、1986年に、数次の蒐集物 *Ausstellungen* 等の業績で *Münchner Ernst-Hoferichter Preis* を受賞した Dr. Rachel Salamander 女史が、その豊富な資料をもとに „Literaturhandlung“ と称するユダイカ専門の書肆を München で翌87年から店開きし、独語圏のユダヤ関係新刊書をほとんど網羅的且学問的に分類した詳細なカタログ „Literatur zum Judentum“ をその年度に作成して、その後も'88, '89年と毎年追補版を出し始めている。女性ばかりでやっている店らしいが、こういう有難いセンターのような拠点ができると、つい私もじっとしていられなくなってしまう。今年になって遂に Salamander 女史は、その豊富な資料を駆使して大冊の „Die Jüdische Welt von Gestern/Text- und Bild-Zeugnisse aus Mitteleuropa“ を自ら出版したのである。

加えて、この10年来の顕著な特徴は、従来ほとんど含まれていなかった日本での研究著作が漸増的に刊行されつつあることである。それに邦訳本の相次ぐ出版も加算すれば、驚くほどの量に達しているといつてよい。残念ながら、その中にはかなりいかがわしい内容(反ユダヤ的な)の通俗書もあるから、良書の選別には慎重を要し、私は私なりの関心に従つて、蒐集に留意し、むしろ網羅的なものにはなつていないし、むしろ大いに抑制につとめてきた10年でもあつた。もともとユダヤ関係の書物は玉石混淆で、

これまでも多くの反ユダヤ的デマゴギーを生んできたのである。

この10年にも、私の志している部分的テーマの仕事は極力進めて、大学院の講義のなかでも展開してきたものの、全体としてはまだきわめて消化不良で、宝のもちぐされのような残念な実情にあり、これからこそ本番という決意の道標ともなれば、と念じている。私が究極的にめざしている地平は、もとより旧著作以降の、19世紀後半から今日にいたるドイツ・ユダヤ精神史・思想史の追求を第一義としながらも、そもそも独語圏内にユダヤ人がどのようにして住みつき、広がり、地歩を占めていったかの歴史過程 (Kunde) を掌握することであり、諸国諸地方諸都市それぞれのユダヤ人史文献はかなり整ってきている。

個別的な文学研究としては、Lion Feuchtwanger の Roman „Jud Süß“ の訳業を仕上げ、Karl Wolfskehl の研究紹介を進めたいと願い、その全集や資料類もようやく古書で入手できたところである。見てのとおり、これまで私の手がけてきた個人対象の文献は、E. Bloch, H. Heine, Fr. Kafka, M. Mendelssohn, G. Scholem 等が多くなっていて、上海の復旦大学出張により「上海のドイツ系ユダヤ人」関係の文献も予想外に膨らんだ。

周知のように、Kafka の文献は汗牛充棟ただならず、蒐めればきりが無いから、およそ Judentum に関連するものだけに限っている。もともと私のユダヤ研究はナチ時代や戦後の今日よりも、その淵源に遡及する意図から出たもので、目先の up-to-date な文献資料にはあまり興味がない。近年では、アメリカの諸大学のユダヤ研究者間にも私の名が伝わり、アメリカでのシンポジウムや研究集会への親切な誘いの文通も始まっているが、今の私にはそこまでの余裕はない。

だいたい私は、その道の権威だとか、造詣が深いとかいう表現を好まない。また、そうした存在に納まろうと思ったこともない。戦後40余年私の歩んできたドイツ文学の道は、Jean Paul であれ、Kafka であれ、「抵抗文学」であれ、いわば Pionier, Bahnbrecher ないし一種の「異端」的な問題提起者、ユダヤ風にいえば „Ruhestörer“ の役割であったと思っている。そこにはいつも時代の aktuell な問題意識と関心が働きつづけてきたといつてよいだろう。東西ドイツの分裂が遂に終りを告げた今日にあっ

て、改めてその感を深くしている。

さきごろ、京都法然院の河上肇記念会席上で私が講演を終えたあと、常連の出席者で旧知の和田洋一老先生から声をかけられた。

「あなたの『ドイツ・ユダヤ精神史研究』という本は、いったい売れたでしょうかね。日本の独文学界には、およそあなたのような本を書く人はいないから、つい心配になってね。」

「いや、恐れ入ります。でもそのご心配は要りませんで、初版はアッというまに売りきれましたよ。春の独文学会会場に並べたら、たちまち飛ぶように売れて、版元がビックリして慌てて追加を選びつける騒ぎでした。すぐに再版、三版まで行きました……。」

「やあ、それならよかった、安心しました。」

先生が学界のことを見直されたかどうか、秋色深い法然院の境内での会話であった。

それにしても日本の大学では、ユダヤ研究の文献資料類を学問的に一括整備する適切な研究の場（部局）がほとんどないのが現状である。私の蒐集物をまとめて預ってくれる適当な場所もまず見当たらない。図書館に託せば、従来の学問分野別、国別、作家別等の旧来の分類基準で整理されて、バラバラに分類されてしまうだろう。大学以外のユダヤ研究の何らかの機関も、今のところの日本では、数少ないユダヤ教シナゴークらいしかないのではないか。現状の大学でも、学内諸部局のあちこちに散在するユダヤ文献類は、おそらくかなりの量にのぼるにちがいないが、どこでもカード上からしても、四方八方に分散していてまとめようがない。さしずめ、私の次男がいま Wien に留学して Wien 大学の Jüdisches Institut やもう一つの Jüdisches Institut für Erwachsenenbildung に通っているのだから、彼にでも後事を託すしか手がなさそうである。

関大在職中も、直接私自身の指導する院生・学生は別として（この Bibliographie 作成に協力してくれた院生藤澤ゆうり、奥田誠司両君に感謝する）、学内一般では、遠慮や多忙もあろうが、私の蔵書を活用しようとする関心を感じる機会はほとんどなかった。私は「書目 I」を公表して以来、蔵書を私物化せず、種子蒔きのように学際的な関心を高めたい意味で敢えて公開したわけで、全国的な反響は多大だったものの、関大10年のこ

の経験は残念といえれば残念である。しかし、私としては最後にこの「書誌Ⅲ」を、将来にわたっても、関大への感謝をこめた置土産とさせて頂きたいと考えている。後進の人々への期待を含めて。（この文章起草後に入手した文献類も、校正の段階で若干追補されており、煩瑣のため加筆をあきらめたものも数点に留まらない。）

I. Juden und Judentum überhaupt

1. Hannah Arendt: Die Verborgene Tradition. Suhrkamp Verlag, Frankfurt a. M. 1976 (ハンナ・アレント, 寺島俊穂・藤原隆裕宣訳:『パーリアとしてのユダヤ人』未来社 1989)
2. アバ・埃班 Abba Eban 閻瑞松訳「猶太史 Unser Volk, die Geschichte der Juden」中国社会科学出版社, 北京 1986.
3. 荒井章三・森田雄三郎『ユダヤ思想』(朝日カルチャーブックス-54) 大阪書籍, 大阪 1985.
4. 浅見定雄『にせユダヤ人と日本人』朝日新聞社 1983.
5. Franz J. Bautz (hrsg.): Geschichte der Juden. Von der biblischen Zeit bis zur Gegenwart. Verlag C. H. Beck, München, 2. Aufl. 1987.
6. Conditio Judaica. Judentum, Antisemitismus u. deutschsprachige Literatur vom 18. Jahrhundert bis zum Ersten Weltkrieg. Interdisziplinäres Symposium der Werner-Reimers Stiftung Bad Homburg v. d. H. 2 Teile in 2 Bdn. hg. v. Hans Otto Horch u. Horst Denkler. Max Niemeyer Verlag, Tübingen 1988, 1989.
7. 大学セミナー・ハウス, 大学院共同セミナー『ヘブライズムとヘレニズム——合理性と非合理性をめぐって——』(並木浩一, 川島重成, 絹川正吉, 川田 殖, 荒井 献) 新地書房 1985.
8. Ilan Halevi: Question Juive. Les Editions de Minuit, Paris 1981. (奥田暁子訳『ユダヤ人の歴史』三一書房 1990.)
9. 広河隆一/パレスチナ・ユダヤ人問題研究会編『ユダヤ人とは何か』「ユダヤ人」1. 三友社出版, 東京 1985.
10. 石田友雄『ユダヤ教史』(世界宗教史叢書4) 山川出版社 1980.

11. Judaica. Die Sammlung Berger (hrsg. v. M. Berger, W. Häusler, E. Lessing). Kult und Kultur des europäischen Judentums. Jugend und Volk Verlagsgesellschaft, Wien/München 1979.
12. Werner Keller: Und Würden Zerstreut unter Alle Völker. Droemersch Verlagsgesellschaft. Th. Knauer Nachf., München/Zürich.
(迫川由和/天野洋子訳:『ディアスポラ』上・下, 山本書店 1982.)
13. Franz Kobler (hrsg.): Juden und Judentum in deutschen Briefen aus drei Jahrhunderten. Jüdischer Verlag Athenäum, Königstein/Ts. 1984.
14. 小谷瑞穂子『ユダヤ系芸術家たち Jewish Artists. その創造の航跡』サイマル出版会 1987.
15. Siegfried Kracauer: HISTORY. The Last Things Before the Last. Oxford University Press, Inc., New York 1969.
(平井 正訳『永遠のユダヤ人の鏡像』せりか書房 1977.)
16. Salcia Landmann: Der ewige Jude. R. Piper & Co. Verlag München 1974 (S. ラトマン, 三浦・川副・長谷川訳:『永遠のユダヤ人, 生きのこりの論理』社会思想社 1981)
17. Nicholas de Lange: Weltatlas der alten Kulturen. Jüdische Welt. Christian Verlag, München 1984.
18. Klaus Lohrmann (hrsg.): 1000 Jahre österreichisches Judentum. Edition Roetzer, Eisenstadt 1982.
19. 奈良宏志(編)『ユダヤ人』(『現代のエスプリ』121) 至文堂 1977.
20. Bezalel Narkiss (hrsg.): Geschichte der jüdischen Kultur in Bildern. (Für die Deutsche Sprache Flaming Verlag, Zürich) Massada Press Ltd., Jerusalem 1973.
21. Andre Neher: L'exil de la Parole, Du silence biblique au silence d'Auschwitz. Editions du Seuil, Paris 1970.
(A. ネエル, 西村俊昭訳『言葉の捕囚——聖書の沈黙からアウシュヴィッツの沈黙へ——』創文社 1984.)
22. Jacob Neusner: Judaism in Society. University Chicago, 1983.
23. B. Cecil Roth: Die Kunst der Juden. Bd. I, 1963, Bd. II, 1964.

Ner-Tamid-Verlag, Frankfurt a. M.

24. Gershon Shaked: Die Macht der Identität. Essays über jüdische Schriftsteller. Aus dem Englischen v. Ulrike Berger, Matthias Morgenstern u. Eve Strauss. Jüdischer Verlag bei Athenäum, Königstein/Ts. 1986.
25. Heinrich Simon u. Marie Simon: Geschichte der jüdischen Philosophie. Verlag C. H. Beck, München 1984.
26. Günter Stemberger (hrsg.): Die Juden, Ein historisches Lesebuch. (Beck'sche Reihe BsR 410) Verlag C. H. Beck, München 1990.
27. 上田和夫『ユダヤ人』(講談社現代新書834)講談社 1986.
28. Max Wurmbrand u. Cecil Roth: Das Volk der Juden. 4000 Jahre Kampf ums Überleben. Abi Melzer Verlag, Israel 1980.

II. Alt-Glauben und Lehre

1. Erich Fromm: Das jüdische Gesetz. Zur Soziologie des Diaspora-Judentums. (Diss. v. 1922) Beltz Verlag, Weinheim/Basel 1989.
2. Manly P. Hall (Interpret): The Secret Teaching of All Ages, an Encyclopedic Outline of Masonic, Qabbalistic and Rosicrucian crucian Symbolical Philosophy. The philophical Research Society, Inc., (『カバラと薔薇十字団』大沼忠弘他訳 象徴哲学大系 III, 人文書院 1981).
3. Adolph Jellinek: Beiträge zur Geschichte der Kabbala. (Vols. I und II C. L. Fritzsche, Leipzig 1852) Arno Press (Reprint) A New York Times Company, New York 1980.
4. Judaica. (Diederichs Gelbe Reihe; 35) Der Sohar. Das Heilige Buch der Kabbala. Eugen Diederichs Verlag, Düsseldorf/Köln 1982.
5. Jacob Neusner: Judaism in Society. The Evidence of the Yerushalmi. Toward the Natural History of a Religion. The University of Chicago Press, Chicago/London 1983.
6. Leo Prijs: Die Welt des Judentums. Religion, Geschichte, Le-

bensweise. Verlag C. H. Beck, München 1982.

7. Alan Unterman: Jews. Their Religious Beliefs and Practices.
(アラン・ウンターマン, 石川耕一郎・市川 裕訳『ユダヤ人
の信仰と生活』筑摩書房 1983.)

III. Geschichtliche Zeit und Raum

1. Jacob Allerhand: Das Judentum in der Aufklärung. Frommann-Holzboog, Stuttgart/Bad Cannstatt 1980.
2. Adolf Altmann: Geschichte der Juden in Stadt und Land Salzburg von den frühesten Zeiten bis auf die Gegenwart. Otto Müller Verlag, Salzburg 1990.
3. Alexander Altmann: Die trostvolle Aufklärung. Studien zur Metaphysik und politischen Theorie Moses Mendelssohns. (Forschungen und Materialien zur deutschen Aufklärung: Abt. 2; Monogr.; Bd. 3) Frommann-Holzboog, Stuttgart/Bad Cannstatt 1982.
4. Paul Assall: Juden im Elsaß. Bühl-Moos Verlag, 1984.
(パウル・アサール, 字京早苗訳『アルザスのユダヤ人』平凡社 1988.)
5. Friedrich Battenberg: Das europäische Zeitalter der Juden. 2 Bde.
Bd. 1: Von den Anfängen bis 1650. 21 Abb. u. 1 Kt. Bd. 2:
Von 1650 bis 1945. 32 Abb. u. 1 Kt. Wissenschaftliche Buchgesellschaft 1990.
6. Ruth Beckermann (hrsg.): Die Mazzesinsel. Juden in der Wiener Leopoldstadt 1918–1938. Löcker Verlag, Wien/München 1984.
7. Sammlung Max Berger. „Heilige Gemeinde Wien“—Judentum in Wien. Historisches Museum der Stadt Wien 108. Sonderausstellung 12. November 1987 bis 5. Juni 1988. Eigenverlag, Wien.
8. Ricardo Calimani. Die Kaufleute von Venedig. Die Geschichte der Juden in der Löwenrepublik. (Aus dem Italienischen v. Sylvie Höfer, Okt. 1990 (dtv sachbuch) München (Rusconi

- Libri S. P. A. Milano 1985)
9. Annie David: Von den Juden in Deutschland 1600-1870. Ein Bildbericht. Massada Press, Jerusalem 1973.
 10. Christoph Daxelmüller: Jüdische Kultur in Franken. Echter Verlag, Würzburg 1988.
 11. Adolf Diamant: Chronik der Juden in Dresden. Von den ersten Juden bis zur Blüte der Gemeinde und deren Ausrottung. Verlag Agora, Frankfurt a. M. 1973.
 12. 土井敏邦『アメリカのユダヤ人』. 岩波新書 1991.
 13. Ludwig Geiger: Geschichte der Juden in Berlin. Zentralantiquariat der DDR, Leipzig 1988.
 14. Nachum T. Gidal: Die Juden in Deutschland von der Römerzeit bis zur Weimarer Republik. Bertelsmann Lexikon Verlag, Gütersloh 1988.
 15. Heinz Gstrein: Jüdisches Wien. Herold, Wien/München 1984.
 16. 潘光旦『中国境内猶太人的若干歴史問題——開封の中国猶太人』北京大学出版社 1983.
 17. Heiko Haumann: Geschichte der Ostjuden. Deutscher Taschenbuch Verlag, München 1990.
 18. ハウクス・ポット, F. L. Hawks-Pott. 帆足計, 浜谷満雄訳『上海の歴史』白楊社 1940.
 19. 浜野成生『ユダヤ系アメリカ文学の出発』 研究社. 1984.
 20. Deborah Hertz: Die jüdischen Salons im alten Berlin, aus d. Amerik. von Gabriela Neumann-Kloth. („Jewish Society in Old Regime Berlin“ 1988, Yale University) Verlag Anton Hain Frankfurt a. M., 1991.
 21. 平田達治・平野嘉彦編『プラハ・ヤヌスの相貌』(ドイツの世紀末 第2巻) 国書刊行会 1986.
 22. Wilma Iggers (hrsg.): Die Juden in Böhmen und Mähren. Ein historisches Lesebuch. Verlag C. H. Beck, München 1986.
 23. Juden im Vormärz und in der Revolution von 1848. (Jahrbuch

- des Instituts für Deutsche Geschichte, Beischrift 5) Univ., Tel-Aviv 1982.
24. Gerd Kaminski u. Else Unterrider: Von Österreichern und Chinesen. (Nr. 13 der Berichte des Ludwig Boltzmann Institutes für China- und Südostasienforschung) Europa Verlag, Wien 1980.
 25. Jacob Katz: Zur Assimilation und Emanzipation der Juden. Wissenschaftliche Buchgesellschaft, Darmstadt 1982.
 26. Meyer Kayserling: Die Jüdischen Frauen in der Geschichte, Literatur und Kunst 1829-1905. (published by F. A. Brockhaus, Leipzig 1879) Arno Press (Reprint) A New York Times Company, New York 1980.
 27. Alfred Kazin: New York Jew. Alfred A. Knopf, Inc., New York 1978. (A. ケイジン, 大津栄一郎・筒井正明訳 『ニューヨークのユダヤ人たち ある文学の回想1940-60』岩波現代選書126 岩波書店 1987.)
 28. Gottfried Korff u. Reinhard Rürup (hrsg.): Berlin, Berlin. Die Ausstellung zur Geschichte der Stadt. Nicolai Verlag, Berlin 1987.
 29. Kulturabteilung des Amtes der Bgld. Landesregierung (hrsg.): Judentum im Mittelalter. (Katalog für die Ausstellung „Judentum im Mittelalter“ im Schloß Halbturn. 4. Mai—26. Oktober 1978) Burgenland 1978.
 30. Rat des Bezirkes Leipzig Abteilung Kultur (hrsg.): Juden in Leipzig. (Eine Dokumentation zur Ausstellung anlässlich des 50. Jahrestages der faschistischen Pogromnacht im Ausstellungszentrum der Karl-Marx-Universität Leipzig) 1988.
 31. Charlene A. Lea: Emancipation, Assimilation and Stereotype: The Image of The Jews in German and Austrian Drama 1800-1850. (C. A. リー, 柳川, 山西訳 『宿命の道化たち ドイツ・オーストリア演劇におけるユダヤ人像』ありな書房 1985.)

32. Josef Meisl: Haskalah. Geschichte der Aufklärungsbewegung unter den Juden in Russland. (C. A. Schwetschke & Sohn, Verlagsbuchhandlung, Berlin 1729) Arno Press (Reprint) A New York Times Company, New York 1980.
33. Donald L. Niewyk: The Jews in Weimar Germany. Louisiana State Univ. 1980.
34. Heinrich Pleticha (hrsg.): Das Bild der Juden in der Volks- und Jugendliteratur vom 18. Jahrhundert bis 1945. Verlag Dr. Johannes Königshausen + Dr. Thomas Neumann, Würzburg 1985.
35. Bildarchiv Preußischer Kulturbesitz (hrsg.): Juden in Preußen. Ein Kapitel deutscher Geschichte. (Die bibliophilen Taschenbücher Nr. 259/260, 2. Aufl. 1981) Harenberg Kommunikation, Dortmund 1981.
36. Arthur Prinz: Juden im Deutschen Wirtschaftsleben. Soziale und wirtschaftliche Struktur im Wandel 1850–1914. (Schriftenreihe wissenschaftlicher Abhandlungen des Leo Baeck Instituts) J. C. Mohr (Paul Siebeck), Tübingen 1984.
37. Fridrun Rinner u. Klaus Zerinschek (hrsg.): Galizien als Gemeinsame Literaturlandschaft. Amoe, Innsbruck 1988.
38. ロート美恵『「生」と「死」のウィーン——世紀末を生きる都市』講談社 1991.
39. Julius H. Schoeps (hrsg.): Juden als Träger bürgerlicher Kultur in Deutschland. Burg Verlag 1989.
40. Rachel Salamander (hrsg.): Die jüdische Welt von gestern. Text- und Bild-Zeugnisse aus Mitteleuropa 1860–1938. Verlag Brandstätter, München 1989.
41. 上海恒産股份有限公司『上海に於ける不動産事情 (上海の経済と猶太人)』上海恒産(株), 東京出張所 1943.
42. Leo Sievers (hrsg.): Juden in Deutschland. Die Geschichte einer 2000jährigen Tragödie. Verlag Grunter + Jahr AG u. Co., Hamburg 1. Aufl. 1977.

43. Georg Stadtmüller: Geschichte der habsburgischen Macht. 1966
 (G. シュタットミュラー『ハプスブルク帝国史, 中世から1918年まで』丹後杏一訳 刀水書房 1989)
44. Studia Judaica Austriaca.
- Bd. I Das Judentum im Revolutionsjahr 1848. (hrsg. vom Verein „Österreichisches Jüdisches Museum in Eisenstadt“) In Kommission bei Verlag Herold, Wien 1974.
- Bd. II Spätantikes Judentum und frühchristliche Kunst. (hrsg. vom Verein „Österreichisches Jüdisches Museum in Eisenstadt“) In Kommission bei Verlag Herold, Wien 1974.
- Bd. III Studien zum ungarischen Judentum. (hrsg. vom Verein „Österreichisches Jüdisches Museum in Eisenstadt“) In Kommission bei Edition Roetzer, Eisenstadt 1976.
- Bd. IV Studien zur Literatur der Juden in Osteuropa. (hrsg. v. Jacob Allerhand u. Claudio Magris) In Kommission bei Edition Roetzer, Eisenstadt 1977.
- Bd. V Der Gelbe Stern in Österreich. (Katalog und Einführung zu Einer Dokumentation) In Kommission bei Edition Roetzer, Eisenstadt 1977.
- Bd. VI Der Wiener Stadttempel 1826–1976. Edition Roetzer, Eisenstadt 1978.
- Bd. VII Das österreichische Judentum zur Zeit Maria Theresias und Josephs II. (hrsg. v. Klaus Lohrmann) Edition Roetzer, Eisenstadt 1980.
- Bd. VIII Zur Geschichte der Juden in den östlichen Ländern der Habsburger Monarchie. Edition Roetzer, Eisenstadt 1980.
- Bd. X Prag—Czernowitz—Jerusalem. Der österreichische Staat und die Juden von Zeitalter des Absolutismus bis zum Ende der Monarchie. (hrsg. v. Anna M. Drabek, Mordechai Eliav, Gerald Stourzh) Edition Roetzer, Eisenstadt 1984.
45. A. J. P. Taylor: The Habsburg Monarchy 1809–1918. A History

- of the Austrian Empire and Austria-Hungary. Penguin Books, London 1948. (A. J. P. テイラー『ハプスブルク帝国1809—1918』倉田稔訳 筑摩書房 1987)
46. Manfred Tremml u. Josef Kirmeier (hrsg.): Geschichte und Kultur der Juden in Bayern. Aufsätze. (Veröffentlichungen zur Bayerischen Geschichte und Kultur. Nr. 17/88) K. G. Sauer, München-New York-London-Paris 1988.
 47. Manfred Tremml u. Wolf Weigand (hrsg.): Geschichte und Kultur der Juden in Bayern. Lebensläufe. (Veröffentlichungen zur Bayerischen Geschichte und Kultur. Nr. 18/88) K. G. Sauer, München-New York-London-Paris 1988.
 48. 上山安敏『東方ユダヤ神秘主義と西欧』「思想」1989年3月号 岩波書店
 49. Robert Weltsch: An der Wende des modernen Judentums. (Veröffentlichung des Leo Baeck Instituts) J. C. B. Mohr (Paul Siebeck), Tübingen 1972.
 50. Bernhard Zeller (hrsg.): Das 20. Jahrhundert. Von Nietzsche bis zur Gruppe 47. Deutsche Schillergesellschaft Marbach, Frankfurt a. M. 1980.
 51. Frank Hermann: Malik. Zur Geschichte eines Verlages 1916-1947. (Veröffentlichungen des Heinrich-Heine-Instituts. Düsseldorf) Droste Verlag, Düsseldorf 1989.

IV. Judenfrage (Antisemitismus)

1. Hermann Bahr: Der Antisemitismus. Ein internationales Interview. Jüdischer Verlag, Königstein/Ts. 1979.
2. Alex Bein: Die Judenfrage. Bd. I Biographie eines Weltproblems. Bd. II Anmerkungen. Exkurse. Register. Deutsche Verlag-Anstalt, Stuttgart 1980.
3. Günter Brakelmann u. Martin Rosowski (hrsg.): Antisemitismus. Von religiöser Judenfeindschaft zur Rassenideologie. (VR Klei-

- ne Vandenhoeck-Reihe) Vandenhoeck u. Ruprecht, Göttingen 1989.
4. John Bunzl: Klassenkampf in der Diaspora. Zur Geschichte der jüdischen Arbeiterbewegung. (Schriftenreihe des Ludwig-Boltzmann-Instituts für Geschichte der Arbeiterbewegung 5) Europaverlag, Wien 1975.
 5. Gerhard Czermak: Christen gegen Juden. Geschichte einer Verfolgung. Greno Verlag, Nördlingen 1989.
 6. Hermann Greiv: Geschichte des modernen Antisemitismus in Deutschland. Wissenschaftliche Buchgesellschaft 1983.
 7. Hans Otto Horch (hrsg.): Judentum, Antisemitismus und europäische Kultur. A. Franke Verlag, Tübingen 1988.
 8. Jacob Katz: Vom Vorurteil bis zur Vernichtung. Der Antisemitismus 1700-1933. (Aus dem Englischen von Ulrike Berger) Verlag C. H. Beck, München 1989.
 9. 鹿島 健『米国に於けるユダヤ人問題』同文館 1942.
 10. Paul W. Massing: Vorgeschichte des politischen Antisemitismus. Europäische Verlagsanstalt, Frankfurt a. M. 1986.
 11. Heiko A. Oberman: Wurzeln des Antisemitismus. Christenangst und Judenfrage im Zeitalter von Humanismus und Reformation. Severin und Siedler, Berlin 1981.
 12. 良知 力・広松 渉『ユダヤ人問題』(ヘーゲル左派論叢) 御茶の水書房 1986.
 13. Rosemarie Schuder u. Rudolf Hirsch: Der gelbe Fleck. Wurzeln und Wirkungen des Judenhasses in der deutschen Geschichte. Rütten u. Loening, Berlin 1987 (2. Aufl. 1989).
 14. Herbert A. Strauss u. Norbert Kampe (hrsg.): Antisemitismus. Von der Judenfeindschaft zum Holocaust. Campus Verlag, Frankfurt a. M./New York 1985.
 15. Robert Weltsch: Die deutsche Judenfrage. Ein kritischer Rückblick. Jüdischer Verlag, Königstein/Ts. 1981.

V. Nazizeit

1. 雨宮栄一『ユダヤ人虐殺とドイツの教会』教文館 1987.
2. Silvano Arieti: The Parnas. Basic Books, Inc., New York 1979
(シルヴァーノ・アリエティ『パルナス、ピサのユダヤ人虐殺』
森泉弘次訳、みすず書房 1990)
3. Die jüdische Emigration aus Deutschland 1933-1941. Die Geschichte einer Austreibung. (Eine Ausstellung der Deutschen Bibliothek unter Mitwirkung des Leo Baeck Instituts) Buchhändler-Vereinigung, Frankfurt a. M. 1985.
4. Wolfgang Benz (hrsg.): Die Juden in Deutschland 1933-1945. Leben unter nationalsozialistischer Herrschaft. Verlag C. H. Beck, München 1988 (2. Aufl. 1989).
5. Donald G. Daviau u. Ludwig M. Fischer (hrsg.): Das Exilerlebnis. Camden House, Columbia/South Carolina 1982.
6. Herbert Freedon: Die jüdische Presse im Dritten Reich. (Eine Veröffentlichung des Leo Baeck Instituts) Athenäum Verlag, Frankfurt a. M. 1987.
7. Hajo Funke: Die andere Erinnerung. Gespräche mit jüdischen Wissenschaftlern im Exil. Fischer Taschenbuch Verlag, Frankfurt a. M. 1989.
8. Günter Bernd Ginzler: Jüdischer Alltag in Deutschland 1933-1945. Droste Verlag, Düsseldorf 1984.
9. Hermann Graml: Reichskristallnacht. Antisemitismus und Judenverfolgung im Dritten Reich. DTV Verlag, München 1988.
10. 犬塚きよ子『ユダヤ問題と日本の工作——海軍・犬塚機関の記録』日本工業新聞社 1982.
11. D. Kenrick and G. Puxon: The Destiny of Europe's Gypsies. 1972 (ドナルド・ケンリック, グラタン・パックスン, 小川 悟監訳『ナチス時代の「ジプシー」』明石書店 1984)
12. Alfred W. Kneucker: Zuflucht in Shanghai. Aus den Erlebnissen eines österreichischen Arztes in der Emigration 1938-1945. Her-

- mann Böhlaus Nachf., Wien-Köln-Graz 1984.
13. Thomas Koebner, Wulf Köpke u. Joachim Radkau: Exilforschung. Ein internationales Jahrbuch.
Bd. I Stalin und die Intellektuellen und andere Themen. Edition Text + Kritik, München 1983.
Bd. II Erinnerungen aus Exil—kritische Lektüre der Autobiographien nach 1933 und andere Themen. Edition Text + Kritik, München 1984.
Bd. III Das jüdische Exil u. andere Themen. hg. im Auftr. d. Ges. für Exilforschung. Edition Text + Kritik München 1986.
 14. Exilliteratur 1933–1945. Hrsg. von Wulf Koepke u. Michael Winkler. Darmstadt: Wiss. Buchges. 1989.
 15. 久野 収『ファッションの中の1930年代』リプロポート 1986.
 16. Lawrence Langer: The Holocaust and The Literary Imagination. Yale University Press, 1975. (ローレンス・L. ランガー, 増谷外世嗣『ホロコーストの文学』晶文社 1982.)
 17. Heinz David Leuner: Gerettet vor dem Holocaust. Menschen, die halfen. Verlag Ullstein, Frankfurt a. M. 1989.
 18. 村瀬興雄『ナチス統治下の民衆生活——その建前と現実——』東京大学出版会 1983.
 19. 中山正善:『寧滬土産』天理時報社(奈良県) 1943.
 20. Julius Mader: Dr. Sorge-Report. Militärverlag der DDR, Berlin 1985. (J. マーダー, 植田敏郎訳『ゾルゲ事件の真相』朝日ソノラマ 1986)
 21. 大野英二『ナチズムと「ユダヤ人問題」』リプロポート 1988.
 22. 尾崎秀樹『上海1930年』岩波新書 1989.
 23. David Pike: Deutsche Schriftsteller im sowjetischen Exil 1933–1945. Suhrkamp Verlag, Frankfurt a. M. 1981.
 24. Nico Rost: Goethe in Dachau. (Bibliothek der verbrannten Bücher) Fischer Taschenbuch Verlag, Frankfurt a. M. 1983.

25. 相良俊輔『流水の海, ある軍司令官の決断』光人社 1981, 6月12版
(1973, 4月初版).
26. 篠田浩一郎『閉ざされた時空——ナチ強制収容所の文学』白水社
1980.
27. Charles Schüddekopf (hrsg.): Der alltägliche Faschismus. Frauen
im Dritten Reich. Verlag J. M. W. Dietz Nachf., Berlin/Bonn
1982.
28. 東洋協会調査部『事変下の上海概観 (猶太難民問題)』東洋協会, 東
京 1940.
29. Henry Wassermann: Bibliographie des Jüdischen Schrifttums in
Deutschland 1933-1943. (Bibliographien zur deutsch-jüdischen
Geschichte Bd. II) K. G. Sauer Verlag, München 1989.
30. Otto Zoff: Tagebücher aus der Emigration 1939-1944. (mit einem
Nachwort von Hermann Kesten) Verlag Lambert Schneider,
Heidelberg 1968.
31. Krystyna Zywułska: Wo vorher Birken waren. 1949, Deutsche
Ausg. Kindler Verlag, München 1979. (K. ズィヴルスカ『地獄
からの生還』大河原 順訳 潮文社 1990)

VI. Jiddisch

1. Werner Besch, Hugo Moser, Hartmut Steinecke u. Benno von
Wiese (hrsg.): Jiddisch. Beiträge zur Sprach- und Literatur-
wissenschaft. (Zeitschrift für deutsche Philologie. Sonderheft
100) Erich Schmidt Verlag, Berlin 1981.
2. 上田和夫『イディッシュ語文法入門』大学書林 1985.
3. 上田和夫編『イディッシュ語基礎1500語』大学書林 1989.
4. Josef Weissberg: Jiddisch. Eine Einführung. (Germanistische
Lehrbuchsammlung; Bd. 27) Verlag Peter Lang, Bern-Frankfurt
a. M. -New York-Paris 1988.

VII. Anthologien

1. Achim vom Borries (hrsg.): Selbstzeugnisse des deutschen Judentums 1861-1945. Fischer Taschenbuch Verlag, Frankfurt a. M. 1988.
2. Walter Grab u. Julius H. Schoeps (hrsg.): Juden im Vormärz und in der Revolution von 1848. Burg Verlag, Stuttgart/Bonn 1983.
3. Walter Grab u. Julius H. Schoeps (hrsg.): Juden in der Weimarer Republik. Burg Verlag, Stuttgart/Bonn 1986.
4. Gunter E. Grimm u. Hans-Peter Bayerdörfer (hrsg.): Im Zeichen Hiobs. Jüdische Schriftsteller und deutsche Literatur im 20. Jahrhundert. Athenäum Verlag, Königstein/Ts. 1985.
5. Die Juden. Vorurteil und Verfolgung im Spiegel literarischer Texte. (Arbeitstexte für den Unterricht) Philipp Reclam, Stuttgart 1986.
6. Thilo Koch (hrsg.): Porträts zur deutsch-jüdischen Geistesgeschichte. Verlag M. DuMont Schauberg, Köln 1961.
7. Stephane Moses u. Albrecht Schöne (hrsg.): Juden in der deutschen Literatur. Ein deutsch-israelisches Symposium. (suhrkamp taschenbuch 2063) Suhrkamp Verlag, Frankfurt a. M. 1986.
8. J.-L. Perez, Scholem-Alejchem u. Scholem Asch: Ostjüdische Erzähler. Fourier Verlag, Wiesbaden 1980.
9. Monika Richarz (hrsg.): Jüdisches Leben in Deutschland. Selbstzeugnisse zur Sozialgeschichte 1780-1871. Deutsche Verlag-Anstalt (Leo Baeck Institute, Inc., New York City) 1976.
10. Monika Richarz (hrsg.): Jüdisches Leben in Deutschland. Selbstzeugnisse zur Sozialgeschichte im Kaiserreich. Deutsche Verlag-Anstalt, 1979.
11. Monika Richarz (hrsg.): Jüdisches Leben in Deutschland. Selbstzeugnisse zur Sozialgeschichte 1918-1945. (Veröffentlichungen des Leo Baeck Instituts) Deutsche Verlag-Anstalt, Stuttgart 1982.

12. Monika Richarz (hrsg.): Bürger auf Widerruf. Lebenszeugnisse deutscher Juden 1780-1945. Verlag C. H. Beck, München 1989.
13. Fridrun Rinner u. Klaus Zerinschek (hrsg.): Galizien als Gemeinsame Literaturlandschaft. Beiträge des 2. Innsbrucker Symposiums polnischer und österreichischer Literaturwissenschaftler. Institut für Sprachwissenschaft der Universität Innsbruck 1988.
14. Hans Jürgen Schultz (hrsg.): Mein Judentum. 1. Aufl. Kreuz Verlag, Stuttgart 1978.
15. Hans Jürgen Schultz (hrsg.): Es ist ein Weinen in der Welt. Hommage für deutsche Juden unseres Jahrhunderts. Quell Verlag, Stuttgart 1990.
16. Rudolf von Thadden (hrsg.): Die Krise des Liberalismus zwischen den Weltkriegen. (Sammlung Vandenhoeck) Vandenhoeck und Ruprecht, Göttingen 1978.

VIII. Persönlichkeiten

1. Martin Jay: Adorno. Harvard University Press, Cambridge, Massachusetts 1984. (マーティン・ジュイ『アドルノ』木田元・村岡晋一訳 岩波書店1987.)
2. Anton Bettelheim: Berthold Auerbach. Der Mann. Sein Werk-Sein Nachlaß. MDCXL, J. C. Cotta'sche Buchhandlung Nachfolger, Stuttgart u. Berlin 1907.
3. Terry Eagleton: Walter Benjamin or Toward a Revoutionary Criticism. Verso Edition and NLB, London 1981. (T. イーグルトン『ワルター・ベンヤミン——革命的批評に向けて』有馬・高井・今村訳 勁草書房 1988.)
4. Burton Bernstein: Family Mattess, Sam, Jennie, and the Kids. Simon & Schuster, New York. 1982. (B. バーンスタイン『バーンスタイン——その音楽と家族』須賀葉子訳 新潮社 1986.)
5. Karola Bloch: Aus meinem Leben. Verlag Günther Neske, Pful-

- lingen 1981.
6. H. L. Arnold: Ernst Bloch. Edition Text+Kritik 1985.
 7. Klaus Rohrbacher (hrsg.): Ernst Bloch und die Heimat. (Vorträge des interdisziplinären Kolloquiums Ludwigshafen/Rhein 1989) Jahresheft der Ernst-Bloch-Gesellschaft 1990. Verlag Hanselmann 1990.
 8. 好村富士彦『プロッホの生涯——希望のエンサイクロペディア』平凡社 1986.
 9. Toni Cassirer: Mein Leben mit Ernst Cassirer. Erinnerungen von Toni Cassirer. Gerstenberg Verlag, Hildesheim 1981.
 10. 生野幸吉『闇の子午線 パウル・ツェラン Paul Celan』岩波書店 1990
 11. Wilhelm Sternberg: Lion Feuchtwanger. Ein deutsches Schriftstellerleben. Athenäum 1984
 12. 木庭宏『ハイネとユダヤの問題——実証主義的研究』松籟社 1981.
 13. Dolf Sternberger: Heinrich Heine und Abschaffung der Sünde. Claassen Verlag, Hamburg u. Düsseldorf. 1972. (Suhrkamp Taschenbuch 308)
 14. Silvia Schlenstedt: Stephan Hermlin, Leben und Werk. Verlag Das Europäische Buch, 1985. (Zuerst erschien in den DDR als Band 2 der Reihe Schriftsteller der Gegenwart, Verlag Volk und Wissen 1985).
 15. Ulrich Janetzki (hrsg.): Henriette Herz. Berliner Salon. Erinnerungen und Portraits. Verlag Ullstein (Ullstein-Buch: Nr. 30165: Die Frau in der Literatur), Frankfurt a. M. 1984.
 16. Ina Prowe-Isenbörger: Deutsche Juden. Verlag Heinrich Warnecke, Hanger bei Bonn 1962.
 17. Hartmut Binder: Kafka in neuer Sicht. Mimik, Gestik und Personengefüge als Darstellungsformen des Autobiographischen (Mit 21 Abbildungen). J. B. Metzler Verlag, Stuttgart 1976.
 18. Hartmut Binder (hrsg.): Kafka-Handbuch in 2 Bänden: Bd. 1.

- Der Mensch und seine Zeit. Bd. 2. Das Werk und seine Wirkung. Alfred Kröner Verlag, Stuttgart 1979.
19. Claud David (hrsg.): Franz Kafka. Themen und Probleme. Vandenhoeck und Ruprecht, Göttingen 1980.
 20. Karl Erich Grözinger (hrsg.): Franz Kafka und das Judentum. (das Colloquium von den beiden Universitäten Jerusalem und Frankfurt a. M. 1986) Jüdischer Verlag bei Athenäum, Frankfurt a. M. 1987.
 21. Jiri Grusa: Franz Kafka aus Prag. S. Fischer Verlag, Frankfurt a. M. 1983.
 22. Gustav Janouch: Franz Kafka und seine Welt. Hans Deutsch Verlag, Wien 1965.
 23. 羽田 功『禁忌の構造. フランツ・カフカとユダヤ人のプラハ』林道舎 1989.
 24. 川村清夫『フランツ・カフカとプラハ・ユダヤ人社会』『上智史学』第35号, 1990 Nov.
 25. Bert Nagel: Kafka und die Weltliteratur. Winkler. 1983.
 26. Marthe Robert: Seul, comme Franz Kafka. Collection «Diaspora» Calmann-Lévy, 1979. (マルト・ロベール:『カフカのように孤独に』東 宏治訳 人文書院 1985)
 27. ebenda, L'ancien et le Nouveau. De Don Quichotte a Franz Kafka Grasset 1963. (マルト・ロベール『古きもの新しきもの』城山・島・円子訳, 法政大学出版局 1987.)
 28. Heinz Politzer (hrsg.): Franz Kafka. (Wege der Forschung; Bd. 322. Wissenschaftliche Buchgesellschaft. Darmstadt 1980.
 29. Wolfgang Rothe: Kafka in der Kunst. Belser Verlag, Stuttgart/Zürich 1979.
 30. 坂内 正『カフカの《審判》』創樹社 1981.
 31. 坂内 正『カフカの《城》』創樹社 1985.
 32. 坂内 正『カフカの《アメリカ(失踪者)》』創樹社 1989.
 33. Julius H. Schoeps (hrsg.): Im Streit um Kafka und das Juden-

- tum. Der Briefwechsel Max Brod und Hans-Joachim Schoeps. Jüdischer Verlag bei Athenäum, Königstein/Ts. 1985.
34. 谷口 茂『フランツ・カフカ論——ユーデントゥームとの関係を中心に——1983 明星大学出版部.
 35. Modern Austrian Literature. Special Franz Kafka Issue. Journal of the International Arthur Schnitzler Research Association Vol. 11, Nos. 3/4. University of California at Riverside 1978.
 36. Franz Kafka 生誕百年記念号 „Neue Rundschau“, S. Fischer Verlag, Frankfurt a. M. 1983.
 37. Harold Bloom: Kafka-Freud-Scholem. Essays: Gesetz und Abweichung in der jüdischen Moderne. Aus Amerikan. Engl. v. A. Schweighart. Basel u. Frankfurt, a. M., Stroemfeld/Robert Stern 1990.
 38. Arnold Künzli: Karl Marx. Eine Psychographie. Europa Verlag, Wien 1966.
 39. Murray Wolfson: Marx: Economist, Philosopher, Jew. [M. ウルフソン, 堀江忠男監訳: 『ユダヤ人マルクス』新評論(株) 1987.]
 40. Norbert Hinke (hrsg.): Ich handle mit Vernunft . . . Moses Mendelssohn u. d. europäische Aufklärung. Felix Meiner Verlag, Hamburg 1981.
 41. Eckart Kleßmann: Die Mendelssohns. Bilder aus einer deutschen Familie. Artemis & Winkler Verlag, 1990.
 42. Heim Knobloch: Herr Moses in Berlin. Auf der Spuren eines Menschenfreundes. 2. Aufl. (Nachdruck), Buchverlag Der Morgen, Berlin 1980.
 43. Herbert Kupferberg: The Mendelssohns. Three Generations of Genius. Charls Scribner's Sons, New York 1972. (ハーバート・クッファーバーグ『三代のユダヤ人, メンデルスゾーン家の人々』横溝亮一訳, 東京創元社 1985.)
 44. Julius H. Schoeps: Moses Mendelssohn. Jüdischer Verlag, Königstein/Ts. 1979.

45. B. Eckert und W. Berthold: Josef Roth 1894-1939. Eine Ausstellung der Deutschen Bibliothek. 2., verb. Aufl. Buchhändler-Ver-einigung, Frankfurt a. M. 1979.
46. Guy de Rothschild: Contre bonne Fortune... Editions Belfond, Paris 1983 (ギ・ド・ロスチャイルド『ロスチャイルド自伝』酒井伝六訳 新潮社 1990.)
47. Norbert Abels: Sicherheit ist nirgends. Judentum und Aufklärung bei Arthur Schnitzler. Athenäum. Königstein/Ts. 1982.
48. David Biale: Gershom Scholem. Kabbalah and Counter-History. Harvard University Press, Cambridge 1979 and 1982.
(ディヴィッド・ピアール, 木村光二訳『カパラーと反歴史. 評伝ゲルショム・ショールム』晶文社 1984.)
49. Joseph Dan: Gershom Scholem and the Mystical Dimension of Jewish History. New York University Press, New York and London. 1987.
50. Aby Warburg: Ein intellektuelle Biographie. Europäische Ver-lagsanstalt Frankfurt a. M. 1981. (E. H. ゴンブリッチ『アビ・ヴァールブルク伝 ある知的遺産』鈴木杜幾子訳 晶文社 1986.)
51. Wolfgang Schluchter (hrsg.): Max Webers Studie über das an-tike Judentum. Interpretation und Kritik. (Suhrkamp-Taschen-buch Wissenschaft: 340) Suhrkamp Verlag, Frankfurt a. M. 1981.
52. Gunter Grimm: Karl Wolfskehl. Die Hiob-Dichtung. Bouvier Ver-lag. Herbert Grundmann. Bonn 1972.
53. Manuel Winitzer: Arnold Zweig. Das Leben eines deutsch-jüdi-schen Schriftstellers. Athenäum Verlag, Königstein/Ts. 1983.
54. Volker Henze: Jüdischer Kulturpessimismus und das Bild des Al-ten Österreich im Werk Stefan Zweigs und Josef Roths. Bei-träge zur neueren Literaturgeschichte Bd. 82. Carl Winter. Uni-versitäts Verlag, Heidelberg 1988.
55. Klaus Weissenberger: Zwischen Stein und Stern. Mystische Form-

gebung in der Dichtung von Else Lasker-Schüler, Nelly Sachs und Paul Celan. A. Franke A G Verlag, Bern 1976.

56. Walter Tetzlaff: 2000 Kurzbiographien bedeutender deutscher Juden des 20. Jahrhunderts. Askania Verlagsgesellschaft, Lindhorst 1982.

IX. Einzelne Werke

1. シャロム・アレイヘム作品集: 『ユダヤ人たち』木島始・磯田阿希子訳, 思潮社 1967.
2. Leo Baeck: Wege im Judentum. Aufsätze und Reden. Schocken Verlag, Berlin 1933.
3. Ernst Bloch: Das Prinzip Hoffnung. 3 Bde. Suhrkamp Verlag, Frankfurt a. M. 1959. (エルンスト・ブロッホ, 山下肇他 5名共訳 『希望の原理』全3巻, 白水社 1982.)
4. Max Brod/Franz Kafka: Eine Freundschaft. Briefwechsel (hrsg. v. Malcolm Pasley) S. Fischer Verlag, Frankfurt a. M. 1989.
5. Lion Feuchtwanger: Die Jüdin von Toledo. Aufbau-Verlag, Berlin 1956.
6. Lion Feuchtwanger, Arnold Zweig. Briefwechsel 1933-1958. Bd. 1. 1933-1948, Bd. 2. 1949-1958. Aufbau-Verlag. Berlin und Weimar 1984.
7. Peter Gay: Freud, Jews and other Germans. (ピーター・ゲイ『ドイツの中のユダヤ—モダニスト文化の光と影』河内恵子訳 思索社 1987.)
8. Eduard Goldstücker: Prozesse. Erfahrungen eines Mitteleuropäers. Albrecht Knaus Verlag, München 1989.
9. Franz Grillparzer (Mit einem Nachwort von Wolfgang Paulsen): Die Jüdin von Toledo. Philipp Reclam Jun., Stuttgart 1970.
10. Stephan Hermlin: Äußerungen 1944-1982. (hrsg. v. Ulrich Dietzel) Aufbau-Verlag, Berlin u. Weimar 1983.
11. Theodor Herzl: Der Judenstaat. Versuch einer modernen Lösung

- der Judenfrage. Manesse Verlag, Zürich 1988.
12. Malcolm Pasley (hrsg.): Franz Kafka. Schriften, Tagebücher, Briefe. Kritische Ausgabe. 2 Bde. Das Schloß/Apparatband. S. Fischer, Frankfurt a. M. 1983.
 13. Jost Schillemeit (hrsg.): Franz Kafka. Der Verschollene/Apparatband. S. Fischer, Frankfurt a. M. 1983.
 14. Hans-Gerd Koch, Michael Müller, Malcolm Pasley (hrsg.): Franz Kafka. 3 Bde. Tagebücher/Tagebücher Kommentarband/Apparatband. S. Fischer, Frankfurt a. M. 1990.
 15. Clara Malraux: Das Geräusch meiner Schritte. Erinnerungen (Aus dem Französischen v. A. Lallemand sowie R. Groh) Originalausgabe »Le Bruit de nos Pas« (Editions Bernard Grasset) Droemersch Verlagsanstalt Th. Knam. Nachf., München 1984.
 16. Hans Mayer: Ein Deutscher auf Widerruf. Erinnerungen 1. 1. Aufl., Suhrkamp Verlag, Frankfurt a. M. 1982.
 17. Hans Mayer: Der Turm von Babel. Erinnerung an eine Deutsche Demokratische Republik. Suhrkamp Verlag, Frankfurt a. M. 1991.
 18. Klaus Mehnert: Ein Deutscher in der Welt. Erinnerungen 1906–1981. Fischer Taschenbuch Verlag. Frankfurt a. M. 1986.
 19. Moses Mendelssohn: Brautbriefe. Mit. u. Einf. v. Ismar Elbogen (Schocken Verlag. Berlin 1936) Nachdruck–Jüdischer Verlag bei Athenäum, Königstein/Ts. 1985.
 20. Moses Mendelssohn: Selbstzeugnisse. Ein Plädoyer für Gewissensfreiheit und Toleranz (hrsg. v. Martin Pfeideler). Horst Erdmann Verlag. 1979. Für Internationalen Kulturaustausch, Tübingen und Basel.
 21. Briefe an eine Freundin. Rahel Varnhagen an Rebecca Friedländer. Hrsg. v. Deborah Hertz. Einleitung u. Anmerkungen von Tamara Schoenbaum-Holtermann. Verlag Kiepenheuer & Witsch, Köln 1988.

22. Marcel Reich-Ranicki (hrsg.): Romane von Gestern, Heute Gelesen. Bd. 2. 1918–1933. S. Fischer Verlag. Frankfurt a. M. 1989.
23. Joseph Roth: Juden auf Wanderschaft. 1927, Der Antichrist. 1934, Die Weissen Städte. 1956. (平田達治/吉田仙太郎訳『放浪のユダヤ人』(ロート・エッセイ集叢書ユニベルシタス)法政大学出版局 1985.)
24. Betty Scholem/Georg Scholem: Mutter und Sohn im Briefwechsel 1917–1946. (hrsg. v. Itta Shedletzky in Verbindung mit Thomas Sparr) Mit 13 Abbildungen und 6 Faksimiles im Text Verlag. Verlag C. H. Beck, München 1989.
25. Gershom Scholem: Judaica. IV. (hrsg. v. Rolf Tiedemann) Suhrkamp Verlag, Frankfurt a. M. 1984.
26. Gershom Scholem: Die Jüdische Mystik in ihren Hauptströmungen. Rhein-Verlag u. Alfred Metzner Verlag. Frankfurt a. M./Berlin 1957 (ゲルショム・ショーレム, 山下 肇・石丸昭二他訳『ユダヤ神秘主義・その主潮流』法政大学出版局 1985, 3. Aufl. 1989.)
27. Kurt Tucholsky: Hitler und Goethe. (クルト・トゥホルスキー『ヒトラーとゲーテ, 世界は諷刺の劇場だ』藤本淳雄他訳 ありな書房『トゥホルスキー選集1』1984)
28. Gert Ueding (hrsg.): Materialien zu Hans Mayer >Außenseiter<. Suhrkamp Verlag, Frankfurt a. M. 1978. (Suhrkamp Taschenbuch 448)
29. K. A. Varnhagen von Ense: Biographien, Aufsätze, Skizzen, Fragmente. (hrsg. v. K. Feilchenfeld u. U. Wiedenmann) Seine Werke in 5 Bdn, Bd. 4, Deutscher Klassiker Verlag, Frankfurt a. M. 1990.
30. Jakob Wassermann: Deutscher und Jude. Reden und Schriften 1904–1933. Verlag Lambert Schneider, Heidelberg 1984.
31. Simon Wiesenthal: Die Sonnenblume. Erzählung. Bleicher Verlag, Gerlingen 1981.

32. Karl Wolfskehl: Hiob oder die vier Spiegel. Claassen Verlag, Hamburg 1950.
33. Karl Wolfskehl: Zehn Jahre Exil. Briefe aus Neuseeland 1938-1948. Verlag Lambert Schneider, Heidelberg/Darmstadt 1959.
34. Karl Wolfskehl: Gesammelte Werke. (hrsg. v. Margot Ruben u. Claus Victor Bock) 2. Bde.
Bd. 1. Dichtungen. Dramatische Dichtungen. Bd. 2. Übertragungen, Prosa. Claassen Verlag, Hamburg 1960.
35. Mea Nyland-Verwey (hrsg.): Wolfskehl und Verwey. Die Dokumente ihrer Freundschaft 1897-1946. Verlag Lambert Schneider, Heidelberg 1968.
36. Karlhaus Kluncker (hrsg.): Karl und Hanna Wolfskehl. Briefwechsel mit Friedrich Gundolf 1899-1931. I, II. Casturm Peregrini Presse, Amsterdam MCMLXXVII.

X. Dokumente

1. Das Emigranten-Adressbuch in Shanghai. Nov. 1939. The New Star Comp. Abtlg. Verlag.
2. Leon Brandt (hrsg.): Abschied von Tewjes Welt. Lebensbilder aus dem jiddischen Stätel. Verlag Kiepenheuer & Witsch. Köln 1981.
3. Eduard Fuchs: Die Juden in der Karikatur. Ein Beitrag zur Kulturgeschichte mit 307 Textillustrationen und 31 schwarzen und farbigen Beilagen. Verlag Klaus Guhl. Nachdr. d. Ausg. München, Langen 1921. Berlin, Guhl 1985.
4. Eike Geisel (Mit e. Vorw. von Günter Kunert): Im Scheunenviertel. Bilder, Texte und Dokumente. Severin und Siedler Verlag, Berlin 1981.
5. Tess Johnston: A Consulate General and the Affair of the Stone Menorah (Life in the Foreign Service) 上海·复旦大学 謝希德學長提供 1988.

6. Rotraut Hackermüller: Das Leben, das mich stört Eine Dokumentation zu Kafkas letzten Jahren 1917–1924. Wien, Berlin. Medusa Verlag 1984.
7. Rat des Bezirkes Leipzig Abteilung Kultur (hrsg.), Manfred Unger, Hubert Lang (bearb.): Juden in Leipzig. Eine Dokumentation zur Ausstellung anlässlich des 50. Jahrestages der faschistischen Pogromnacht. Karl-Marx-Uni. Leipzig. 5. Nov. -17. Dez. 1988.
8. Hans Safrain · Hans Witek (Mit e. Vorw. von Erika Weinzierl): Und keiner war dabei. Dokumente des alltäglichen Antisemitismus in Wien 1938. Picus Verlag, Wien 1988.
9. Theodor Wolff: „Die Juden“ ein Dokument aus dem Exil 1942/43. Hrsg. u. eingeleitet v. Bernd Söseemann. Jüdischer Verlag 1984.

XI. Heutige Welt

1. Werner Bergmann, Rainer Erb (hrsg.): Antisemitismus in der politischen Kultur nach 1945. Westdeutscher Verlag, Opladen 1990.
2. Henryk M. Broder/Michel R. Lang (hrsg.): Fremd im eigenen Land. Juden in der Bundesrepublik. Fischer Taschenbuch Verlag, 1979.
3. Ralph Giordano: Die zweite Schuld oder Von der Last, Deutscher zu sein. Rasch u. Röhring Verlag, Hamburg 1987. (ラルフ・ジヨルダノー, 永井・片岡・中島訳『第二の罪, ドイツ人であることの重荷』白水社 1990)
4. デイヴィッド・グッドマン『走る, 国際化時代の父親術』岩波書店 1989.
5. 石田友雄 『ユダヤ人と中東問題』六興出版 1978.
6. Herlinde Koelbl (Photographien und Interviews): Jüdische Portraits. S. Fischer Verlag. Frankfurt a. M. 1989.
7. Heidi M. Müller: Die Judendarstellung in der deutschsprachigen

Erzählprosa (1945-1981). Forum Academicum in der Verlagsgruppe. Athenäum. Hain-Hanstein 1984 (Hochschulschriften. Literaturwiss: 58).

8. 宮沢正典編：『日本におけるユダヤ・イスラエル論議文献目録 1877-1988』新泉社 1990.
9. Alphons Silbermann/Julius H. Schoeps: Antisemitismus nach dem Holocaust. Bestandsaufnahme und Erscheinungsformen in deutschsprachigen Ländern. Verlag Wissenschaft und Politik., Köln 1986.
10. Ibrahim Souss: Lettre à un ami juif. Éditions du Seuil, Paris 1988. (イブラヒーム・スース『ユダヤ人の友への手紙』西永良成訳, 岩波書店 1989).
11. 揺れるダビデの星, イスラエル建国40年 (1-6), 毎日新聞 1988, 4. 19~24.
12. ワルシャワ・ゲットー蜂起, 45周年記念行事, 毎日新聞 1988, 4. 25.

XII. Bücherei, Bulletin, Jahrbuch, Zeitschrift, Lexikon u. a.

1. Bulletin des Leo Baeck Instituts 1980 Neue Folge. 19. Jahrgang Nr. 56-57. Verlag Bitan Limited, Tel-Aviv.
2. Bulletin des Leo Baeck Instituts. Nr. 58, 59, 60 (1981), 61, 62, 63 (1982), 64, 65, 66 (1983), 67, 68, 69 (1984), 70, 71, 72 (1985), 73, 74, 75 (1986), 76, 77, 78 (1987), 79, 80, 81 (1988), 82, 83, 84 (1989), 85, 86 (1990), Jüdischer Verlag bei Athenäum.
3. Year Book XXIV~XXXV. Leo Baeck Institute. Secker & Warburg. London 1979-1980. Published for the Institute London, Jerusalem, New York.
4. A Hebrew and English Lexikon to the Old Testament. (William Osburn, Jr.) Zondern Publishing House, Michigan 1981.
5. Theodor Fritsch (zusammengestellt u. hrsg.): Handbuch der Judenfrage. Die wichtigsten Tatsachen zur Beurteilung des jüdi-

- schen Volkes. 35 Aufl. (131. bis 145. Tausend) Hammer Verlag. Leipzig 1933.
6. Geschichte und Gesellschaft. Zeitschrift für Historische Sozialwissenschaft 5. Jahrgang 1979/Heft 3. Antisemitismus und Judentum. Vandenhoeck & Ruprecht, Göttingen 1979.
 7. Geschichte und Gesellschaft. Zeitschrift für Historische Sozialwissenschaft 9. Jahrgang 1983/Heft 3. Juden in Deutschland zwischen Assimilation und Verfolgung. Vandenhoeck & Ruprecht, Göttingen 1983.
 8. ebenda : Literatur und Sozialgeschichte (hrsg. v. Wolfgang Schneider). 9. Jahrgang 1983/Heft 1.
 9. Juden in der deutschen Literatur I. „Der Deutshununterricht“ 1984 4. (hrsg. v. Heinz-Dieter Weber) Ehrhard Friedrich Verlag.
 10. Juden in der deutschen Literatur II. „Der Deutshununterricht“ 1985 3. (hrsg. v. Heinz-Dieter Weber) Ehrhard Friedrich Verlag.
 11. Jüdisches Lexikon. Ein enzyklopäd. Handbuch der jüd. Wissens. in 4. Bdn. (Georg Herlitz u. Bruno Kirschner begr.) Unter Mitarb. von über 250 jüd. Gelehrten u. Schriftstellern u. unter red. Mithilfe von Ismar Elbogen. Nachdr. d. 1. Aufl. Berlin Jüdischer Verlag. 1927. Nachdr. Königstein Jüd. Verl. 1982.
 12. Johann Maier u. Peter Schäfer : Kleines Lexikon des Judentums. Verlag Katholisches Bibliothek GmbH. Stuttgart und Christliche Verlagsanstalt GmbH., Konstanz 1981.
 13. 『ユダヤ思想 1, 2』岩波講座「東洋思想」第一巻, 第二巻, 岩波書店 1988.
 14. 満鉄調査部『独逸系猶太人避難民の極東流入に就て』（猶太問題調査資料第11輯）1939. 1月
 15. 満鉄調査部『ラテン・アメリカに於ける猶太人概況』（猶太問題調査資料第34輯）担当・武原武夫, 杉原洋 1941. 10月
 16. 「社会思想史の窓」刊行会（石塚正英）編『社会思想史の窓』集成第

- 1 卷 1986, 第2 卷 1988. 長崎出版
17. 「社会思想史の窓」刊行会編『社会思想史の窓』No. 55 (1988. 12), No. 58 (1989. 3), No. 63 (1989. 8), No. 67 (1989. 12), No. 68 (1990. 1) 「社会思想史の窓」刊行会刊
 18. 徳永恂編『ユダヤ研究 (Judaica) コレクション 図書目録』大阪大学付属図書館 1985. 12月
 19. WAVE 23『シェーンベルクのヴィーン』Schönbergs Wien. WAVE +ベヨトル工房 東京 1989. 11月
 20. Dr. Rachel Salamander (hrsg.): Literatur zum Judentum (Bibliographie) 1987. Förderkreis Literatur zum Judentum e. V. München.
 21. ebenda, Nachtrag 1988.
 22. ebenda, Nachtrag 1989.